

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 3 月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 森林サービス産業推進事業費 (R8分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林活用推進課 森林サービス産業支援係 電話番号：058-272-1111 (内4345)

E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 5,484 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	5,484	2,742	0	0	0	0	0	0	2,742
決定額	5,484	2,742	0	0	0	0	0	0	2,742

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

自然を活かした野外活動等への注目が集まっているが、山村地域ではニーズに対応できる施設や体験メニューが不十分など、収益を生む構造にない。

森林空間を多様な分野で活用することで、山村地域に新たな雇用と収入機会を生み出す森林サービス産業の育成に取り組む必要がある。

このため、ぎふ森のある暮らし推進協議会と県との連携により、森林サービス産業の育成と普及を図る。

(2) 事業内容

① 県普及促進費 234千円

人材育成のため専門研修等の開催

2 回 (うち 1 回を「森林サービス産業全国交流会」として実施)

② 協議会負担金 5,250千円

総会や幹事会等の開催

広報活動

セミナーや企業交流会の開催

「ぎふ森フェス」の開催

（３）県負担・補助率の考え方

第４期森林づくり基本計画に基づく事業であり、森林サービス産業を育成するため県が実施することは妥当。ぎふ森のある暮らし推進協議会は県負担金と会員会費により運営。

（４）類似事業の有無

無

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	180	研修会講師謝礼等
旅費	54	講師等の費用弁償
負担金	5,250	協議会県負担金
合計	5,484	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

第４期岐阜県森林づくり基本計画

第３ 森林の新たな価値の創造と山村地域の振興

１ 森林空間等を活用した森林サービス産業の育成による山村振興

（２）国・他県の状況

国：森林サービス産業（健康経営分野）モデル事業を実施

（R3年度：７地域支援、R4年度：５地域支援）

（３）後年度の財政負担

森林サービス産業の育成には、協議会と県が連携し活動をしていく必要があり、継続した県財政負担が必要。

（４）事業主体及びその妥当性

森林空間の活用促進により山村振興を目指すものであり、県が実施すべきものである。

また、森林空間の活用促進には、企業・団体等の様々な知見を活用する必要があり、第４期岐阜県森林づくり基本計画において協議会の設置について明記されていることから、県が設置・運営を行うことは妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

森林サービス産業の協議会である「ぎふ森のある暮らし推進協議会」、県の活動により森林サービス産業を育成し、山村地域に新たな雇用と収入機会を生み出す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①森林サービス産業起業者数	0	3	6	12	20	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和5年度	・セミナー及び研修会の開催やプランナー派遣を行い、新たに森林サービス産業に取り組む起業者支援を行った。 指標① 目標：__3__ 実績：__3__ 達成率：__100__ %
令和6年度	・セミナー及び研修会の開催やプランナー派遣を行い、新たに森林サービス産業に取り組む起業者支援を行った。 指標① 目標：__3__ 実績：__3__ 達成率：__100__ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	ライフスタイルの変化により、多様な体験や暮らし方が求められており、森林空間の活用に対するニーズが高まっている。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	これまで森林サービス産業にかかる事業の進め方に悩んでいた事業者に対し、当該事業で実施している研修会や交流会、プランナー派遣制度等が事業運営のヒントとなっている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	ぎふ森のある暮らし推進協議会を通じた情報提供や情報収集を行うことで、事業の効率を上げる工夫を行っている。

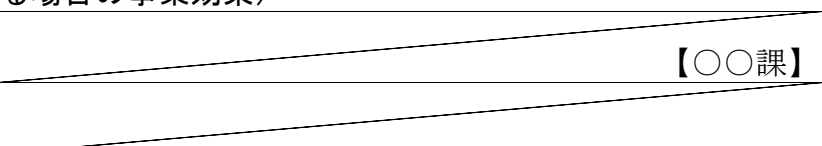
(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 自然を生かした活動等に注目が集まるも、山村地域では第一次産業を中心に産業の停滞や若者の流出が続いており、都市部のニーズに対応できる施設や体験メニュー等を持たず、収益を生む構造が構築されていない。森林空間等の活用により、山村地域に新たな雇用と収入機会を生み出す森林サービス産業の振興が必要。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 第4期岐阜県森林づくり基本計画の目標である「森林サービス産業起業家数」の達成のため、人材育成や専門家による事業化支援、多様な主体との連携を深めるため会員交流会や、ビジネスマッチングに向けた異業種交流会を行う。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	

【〇〇課】